

Date:2019/8/8



富山県立南砺福野高校生39名が 利賀ダムの工事現場を見学



令和元年7月10日(水)に富山県立南砺福野高等学校の農業環境科1・2年生の生徒39名が利賀ダムの工事現場を見学しました。

この見学会は、建設業界の担い手確保・育成を目的として、ダム事業や橋梁工事等の現場を見て、体験してもらうことで建設業界の魅力を高校生に伝えるものです。

現在、利賀ダム工事事務所には南砺福野高校を卒業した先輩が4名おり、先輩方からの事業・工事の説明を熱心に聞き入る生徒たちの様子が見られました。



UAVIによる記念撮影(利賀大橋)



職員からの説明に熱心に聞き入る生徒たち



ボルト締め体験(シクルビ谷橋)



展望台からダム建設予定地を望む



座学の様子

シクルビ谷橋の現場では、生徒全員にボルト締め体験をしてもらいました。自分で締めたボルトを記念に持ち帰る生徒がみられ、橋梁工事にとても関心を持っている様子でした。

見学会の最後には、代表生徒より「見学で学んだことを今後の課題学習に生かしたい」との挨拶をいただきました。



利賀湖面橋の見学



代表生徒からの挨拶

